



ちよう せい ばし ひがし づめ
長生橋東詰広場



DATA・BOARD 12



- ① 新潟県長岡市山田1丁目40-1
- ② 面積約380㎡
- ③ 花火模様タイル、歌碑、照明灯、ベンチ、水飲みなど
- ④ タイル舗装、植栽、自然石、赤御影石（歌碑）
- ⑤ 健康ウォークながおか、長岡祭りの花火大会

長生橋東詰広場は、信濃川にひらかれた「やすらぎのあるまちづくり」をめざし、自転車や歩行者の安全を確保するため長生橋東詰交差点角地を長岡市が買い上げ、交差点改良と広場の整備を行ったものである。

広場は建設省から堤防敷の占用も受けて整備が行われ、タイル舗装や照明灯に長岡花火をデザインし、昭和九年に与謝野鉄幹・晶子夫妻がこの地で詠んだ歌の歌碑を建立した。さらに、長生橋は信濃川に面した長岡市の玄関口にあたるため、堤防法面に市の奨励する草花で「ながおかの花文字と市章を表している。

これらの植栽の管理や広場の清掃は、地域の学区の児童が自主的に行っている。水飲み場やベンチなども配置され、多くの市民に利用されるよう配慮されている。